



Title	はじめに
Author(s)	猪山, 勝利
Citation	身体論の現在 (長崎大学公開講座叢書 8) p.ii-iii
Issue Date	1996-06-28
URL	http://hdl.handle.net/10069/6333
Right	

This document is downloaded at: 2019-06-20T15:30:59Z

はじめに

歴史的転換期を迎えた現代社会において、大学の果す社会的機能を拡充していくことが求められている。現代の大学には、時代に即応した研究と学生の教育とともに、『大学開放』を大学の基本機能として本格的に位置付けていくことが自明のこととなってきた。

そのような時代の要請に主体的に対応するため、長崎大学では昭和50年代から全学の大学開放運営システムとして「大学教育開放運営委員会」を設置し、全部局の教職員の熱意によって大学開放を推進してきた。このような熱意が認められ、平成5年度には「生涯学習教育研究センター」が省令施設として設置されたことを契機に、学長、部局長を核とした「生涯学習委員会」および全学の部局教官から構成された「生涯学習教育研究センター運営委員会」を設置して、生涯学習時代の国民の学習、研究要求に本格的に対応する大学開放を推進していく生涯学習推進態勢を構築した。このような態勢のもとに、公開講座や施設の開放、研究機能の開放など多面的な大学開放を進めているが、現代の社会課題や地域課題の研究をふまえた公開講座をさらに拡充するために、公開講座の受講性だけでなく、広く講座内容を種々の形態で社会公開することを推進していきたい。

いままでに、社会公開のひとつとして公開講座叢書の出版をすすめ、『不況下の企業経営』『日本の水産食品と競争下の経営』『転換期の社会に向かって一人間的時間の復権と社会創造』『長崎から“いのち”を考える』『人にやさしい“まちづくり”—長崎から—』『雲仙普賢岳火山災害にいどむ—長崎大学からの提案—』『生活・地域からの健康づくり』を大蔵省印刷局の支援をうけて出版してきた。本年度は、公開講座叢書8として、身体論と歯科学の先端からなる身体論の現在を編集した。前7書とともに、国民・県民の生涯の学習の推進に貢献することを祈念するとともに、執筆いただいた教官各位の熱意と厳しい出版事情のなか出版いただいた大蔵省印刷局ならびに大学事務当局に深謝

したい。

平成8年4月

長崎大学生涯学習教育研究センター運営委員会

委員長（生涯学習教育研究センター長） 猪 山 勝 利